

平成 29 年度 A1+A2 ターム Academic Writing (英語)の履修について

☆ 下記は、西洋古典研究室開講の Academic Writing とは異なる授業である。そちらの履修は西洋古典専修課程の指示に従うこと。

Academic Writing : Introductory 2 (学部)	木曜 4 時限	三原 芳秋
Academic Writing : Intermediate 2 (学部・大学院共通)	月曜 2 時限	中邑 啓子
Academic Writing : Advanced (大学院)	金曜 5 時限	デイビッド・テイラー

【授業の目的】

インターネット等の普及により、学術研究の成果の共有が時空を超えて瞬時にできるような時代が到来している。学術研究における国際化の流れのなかで、母語が異なる世界中の人々と共通の基盤を持ち、情報を公開し合い、相互理解に基づく批判的な検討や質疑応答が学術研究を進展させる大きな推進力になっている。このような状況の中で今後学術研究の一端を担おうとするためには、それなりの能力の養成がこれまで以上に必須となる。平成 14 年度より開講している「Academic Writing」は、このような学術研究の成果を世界の共通語である英語を使って広く国際社会に公開できる能力の養成を目標としている。

【授業形態】

授業は、(1)学術論文の構成等に関する講義、(2)受講生による研究レポート・論文の作成と口頭発表、(3)受講生同士による発表についての討議、(4)教員による批判的講評という形態で進められる。大学院レベルではこれらはすべて英語で行い、(2)については与えられた課題について小論文を数回作成し、それらについて(3)、(4)の過程で学んだことに基づき、学期末には受講生が専攻する分野での研究の成果を学術論文として作成し、実践的能力の養成に努める。なお、学術研究への意欲を持つ学部学生の基礎力の養成をめざす“Introductory”クラスも木曜 4 時限に開講されているので、積極的に参加してほしい。

【受講に際しての注意事項】

- (1) 受講希望者は、受講を希望するすべての授業について 9/25(月)～29(金)に行われる初回のオリエンテーションに必ず出席し、それぞれの授業において担当教員に受講希望カード(Application Card)を提出すること。 受講希望カードの記入には学生証番号が必要となるので、学生証を忘れずに持参すること。
- (2) 受講機会の均等化を図るために、当該学期に受講できる「Academic Writing(英語)」「英語後期」は、原則として 1 クラスに限る。 なお、Academic Writing の上限受講者数は 20 名である。
- (3) 第 2 回目の授業の折に定員に余裕があるクラスについては、初回のオリエンテーションにも出席し受講希望カードを提出した者に限り、担当教員による面接等の選考を経て受講が可能になる。(教員の許可を得た学生は必ず英文研究室(文学部3号館5階)に申し出ること。研究室に申し出ないと履修は完了しないので注意すること)第 3 回目以降は、いかなる理由があっても受講者の追加を認めない。
- (4) 受講決定者のリストは **10 月 2 日(月)** に人文社会系研究科・文学部事務室、及び英文研究室的掲示板に発表する。
- (5) なお、基礎力養成のため、文学部では「外国語」科目として「英語後期(Writing、Speaking、Reading)」が開講されているので、そちらも参照すること。

- ☆ 受講希望者は、上記受講手続きに加え、所属研究科・学部の履修登録期間内に必ず履修手続きを済ませること。手続きを完了していない場合には、受講することができません。
- ☆ 本科目は上限受講者数が 20 名となっているので、履修登録をしても受講できない場合があります。
- ☆ 履修許可者は 10 月 2 日(月)に、文学部・人文社会系研究科、及び英文研究室的の掲示板上にてお知らせしますので、必ず確認してください。
- ☆ 履修手続に関する問い合わせは、所属研究科・学部の教務担当係、もしくは、学部科目の場合は文学部教務係、大学院科目の場合は人文社会系研究科大学院係へお問い合わせください。

人文社会系研究科大学院係・文学部教務係

平成 29 年度 A1+A2 タームの Academic Writing・英語後期のオリエンテーション日程

オリエンテーション週間: 9 月 25 日(月)～29 日(金)

受講者リスト発表日: 10 月 2 日(月) 朝

通常授業開始日: 10 月 2 日(月)～